



SANJO ROTARY CLUB

三条ロータリークラブ

週報 No. 42

2016.6.1 (No.2869)

夢(Gift)を明日へつなげよう

第2560地区ガバナー／山本 和 則
 会 長／五十嵐晋三
 会長エレクト／川 瀬 康 裕 (クラブ奉仕A)
 副 会 長／小出子恵出 (クラブ奉仕B)
 幹 事／浅野金治
 S A A／吉井直樹
 会 計／野崎喜一郎

例会日／毎週水曜日 12:30～
 例会場及び事務局／
 三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内
 例会場／TEL 34-3311
 事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail : sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
 http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/
 (はshiftを押しながら“へ”のキーを
 押してください)

■本日の出席会員数:56名中43名
 ■先々週出席率:81.48%

【先週のメイクアップ】

- [5.25] 三条市共同募金会運営委員会へ
・丸山行彦さん
- [5.26] 燕RCへ
・中村和彦さん、吉井直樹さん、
・野地貞儀さん
- [5.28～31] ソウル国際大会へ
・川瀬康裕さん、関川 博さん



世界へのプレゼントになろう

2015～2016年度国際ロータリーのテーマ



会長エレクト挨拶

川瀬康裕 会長エレクト



本日は会長稽古日です。

5月28日～6月1日までソウルで開催された2016年度第107回のロータリー国際大会に参加して来ました。5月28日午前7時半に新潟空港に集合し2560地区の87名が大韓航空機でソウルに向かいました。

前日羽田で大韓航空が煙を吹きました。が道中安全を祈り出発しました。三条北から5人、東から3人、そして三条クラブからはわたくしと幹事エレクト関川さんの2名が参加しました。新潟南17名、長岡西10名、新発田9名ほかに村上から糸魚川などからの参加がありました。ほかにツアーとは別に個人参加者がいて総勢150人ほどが参加したそうです。

ツアーの一行は3台のバスに分乗して簡単な市内観光のあと4月に完成したばかりのTマークグランドホテルに到着しました。国際大会はソウル郊外のキンテックスという韓国最大のイベント会場で開催されました。10万平方km以上の広さと4200台収容できる駐車場がありました。主催者発表では43000人、160か国以上からの参加があり、2か所のメイン会場を動く歩道で結んだ広大な敷地に人があふれていました。メイン会場で2日目の午前に開催された開会式には全員で参加しました。伝統的な太鼓や踊り、武道などの演技と国旗入場がありました。聞いたこともないような国の様々な国旗を

みるとロータリアンが世界中にいることにあらためて感動しました。プログラムに載っていないサプライズとして国連事務総長潘基文が出席し、数千人の出席者にポリオ撲滅をはじめとしたロータリーのリーダーシップと人道的活動に感謝を述べました。

まるで生きているようなホログラムのポールハリスも登場しました。ラビンドラン会長がこれまでのクラブの進展をハリスに報告し、聴衆に向かい新しい規定審議会の決定に触れました。「毎週の例会と食事という伝統的なロータリーモデルは、これから新規入会対象となる若い世代の職業人にとって実行できることではないのかもしれない」とラビンドラン会長は語りました。会長は2羽の鷹をもらった王様の話をされました。

熟練の鷹匠によく飛ぶようにしつけなさいと命令しました。しばらくして王様は鷹匠に2羽の鷹の訓練具合を確かめました。鷹匠は王様に1羽は国中を悠々と飛び回るようになりましたが、もう1羽は最初に止まった枝が気に入ったのか一向に飛びませんと報告しました。王様は国中の鷹匠に命じてなんとか鷹を飛ばそうとしましたが鷹は一向にとびません。王様は「鷹を飛ばすことばかり考えていたがこれは木のことをよく知っている人間が必要だ」と農夫をよび、この鷹を飛ばせたら最高の畠を授けるから飛ばしてみよと命令しました。農夫はかしこまりましたと王様に答えました。10分も経たないうちに高い木のでっぺんに飛び移っている鷹をみて王様は大喜びして農夫に最高の畠を与え農夫にどうやったのだと尋ねました。農夫は簡単でした、鷹の止まっている居心地の良い枝を切りましたと。

私たちも自分たちの居心地のよい場を変えることを恐れずに改革することが大切だと語りました。

そのほか韓国のファン・ギョアン首相、スリランカのラニル・ウィクラマシンハ首相があいさつに立ちました。ロータリーの底力と人脈にあらためて感心しました。韓国は二回目でしたが滞在中は普段一日5千歩も歩きませんが、1万6千歩とたくさん歩き、ベテランの関川さんの案内で南大門の豚足屋で焼酎をのんだり、宮廷料理の店で食事とパンソリを楽しんだり韓国を満喫してきました。

幹事報告

浅野金治 幹事

◎山本ガバナー事務所より

「6月ロータリーレートのご案内」

6月1日より 1ドル=110円（現行）

◎田中ガバナーエレクト事務所より

「2016-17年度 地区研修・協議会

報告書送付のご 案内」

「地区奨学生・グローバル補助金奨学生

募集ポスター掲示のお願い」

◎ロータリー文庫より 「デジタル化資料のご案内」

デジタル化した各種資料をホームページで公開しています。是非ご利用ください。

<http://www.rotary-bunko.gr.jp/>

◎次週 8日(水)は、早朝例会です。ご欠席の方は事務局で記帳をお願い致します。

ニコニコBOX

五十嵐晋三会長

今日は次年度練習日です。よろしくお祈りします。

五十嵐昭一さん、卓話ご苦労様です。

川瀬康裕さん

本日は予行演習をさせていただきます。よろしくお祈りいたします。

RI年次大会でソウルに行ってきた。

関川 博さん

本日は次年度会長、幹事模擬例会です。いよいよ覚悟を決めなくてははいけません。みなさんよろしくお祈りします。

五十嵐昭一さん、卓話楽しみです。

中村信一さん

五十嵐昭一会員、卓話ありがとうございます。

ちょっとお休みが続きましたのでニコニコでお許し下さい。

五十嵐昭一さん

拙い卓話をよろしくお祈り致します。

荻根澤隆雄さん

プログラム委員会です。五十嵐年度の会員卓話シリーズ、トリを務めて頂きますものも五十嵐大先輩です。よろしくお祈り致します。

熊倉昌平さん

今年度の会員卓話の最後を飾って五十嵐昭一さん、宜しくお祈りします。

斎藤弘文さん

石垣島や八重山諸島に旅行致しました。近藤会員、渡辺勝利会員、野崎会員、柳取会員本当にお世話になりました。ありがとうございます御座居ました。

中村和彦さん

待望の「マゴ」が来月産まれる予定です。父子で名前を考えています。

五十嵐さん、卓話楽しみにしています。

樺山 仁さん

五十嵐年度も最終の月となりました。御苦労様でした。

本日の卓話五十嵐昭一会員のお話に期待しております。

吉井直樹さん

本日の五十嵐会員の卓話を楽しみにして来ました。

本日宜しくお祈りします。

佐野勝榮さん

久しぶりの五十嵐さんの卓話、楽しみにしています。

衛藤泰男さん

本日もよろしくお祈りします。

五十嵐昭一様、卓話ありがとうございます。

小林吾郎さん

石黒さんが入会してくれました。

石橋育於さん

都合により早退させていただきます。

若槻八十彦さん、米山智哉さん、 杉山幸英さん、

丸山行彦さん、高橋 司さん、 山田富義さん、

渡辺良一さん、宮本信秋さん、 歸山 肇さん、

小越憲泰さん、伊藤寛一さん、 渡辺勝利さん、

菊池 渉さん、金子俊郎さん、 野地貞儀さん、

石黒良行さん、五十嵐博宣さん

五十嵐昭一会員、本日は卓話ありがとうございます。お話し楽しみにしております。

松永一義さん、小出子恵出さん、柳取崇之さん

よいことがありました。スマイルボックスに協力いたします。

6月1日分 ¥ 39,000

今年度累計 ¥ 1,277,000

「第107回ロータリー国際大会に参加して」

次年度幹事 関川 博 会員

韓国で開催されました国際大会に川瀬会長エレクトと出席致しましたので、報告を致します。

2016年5月28日新潟を出発し韓国仁川国際空港までの飛行時間は2時間10分、沖縄より近いため外国に渡航したという印象を持たないまま入国手続きの列に並びましたが、約5万人のロータリアンと関連する人々、明日の開会式出席のためほぼ同じ時刻に訪れたので、入国受付は多国籍な長い行列で華やかでした。もちろん日本全国から集結しているので、様々な方言が飛び交っておりました。

渋滞する中、ソウル市内へ移動しホテルに到着したのは16:00を回っておりました。

翌日は、渋滞も懸念されるので早めのスタート。会場のKINTEXはソウルより北に45kmほど離れた高陽市に位置し順調に進んでも1時間はかかる場所です。案の定、今まで見たことがない数のバスが列をなしており、駐車場に入るまで大渋滞です。2年前当会場に訪れた時にはなかった広大な駐車場のおかげで思ったより混乱はありませんでした。

さて本題の、大会初日ですが会場の収容人数もあり午前の第一回と午後の第二回と入れ替え開催となりました。K.R.ラビンドラン会長の挨拶に始まり予定された来賓の挨拶となりましたが、アジェンダーに掲載されていない、国連事務総長 潘基文氏が登場され場内をわかれました。国連の取り組みとロータリーの取り組みは似ており平和推進のために人道的活動への懸命な取り組みに感謝の辞を述べられたこと、ポリオ撲滅に尽力尽くす全世界のロータリアンを誇りに思うことなど我々の活動を賞賛されておりました。

さらに、韓国の黄教安首相、ラビンドラン会長の祖国であるスリランカのラニル・ウィクラマシンハ首相がスピーチをされたことに驚くとともに、国連事務総長、2カ国の首相がスピーチするロータリー国際大会のレベルの高さに私がここにおいて良いのだろうか？と、緊張感を新たにいたしました。ポールハリスのホログラムと語るラビンドラン会長は、まるで生きているポールハリスと語るようで、スクリーン越しでありましたが、そこにポールハリスいるようで思わず目頭が熱くなりました。また、160ヶ国の国旗入場、伝統的な演舞やアトラクションはどれもテンポよく無駄がなく気分が高揚する仕掛けは圧巻です。

以前国際大会に出席された山田会員のご指導で、バナーを10枚持参しました。最初はどこでどのよう

に交換するのか？言葉は？流儀は？いろいろ考えましたが山田さんの一言を思い出しました。「勇気を出して、頭の上で振ってごらん下さい、すぐに世界の友人が声をかけて来ました。」言葉より、気持ちが優先される素晴らしい体験を致しました。

友愛の家と称して、韓国全土のロータリークラブが模擬店やショップ、地区のブースを展開し、たまたま写真撮影をお願いした韓国のロータリアンに「ぜひあって欲しい人がいるので案内したい」と言われるまま紹介された人は、第3540地区ガバナーでした。

最終日は、市内観光の後空港へ向かうスケジュールでしたが、川瀬会長エレクトはせっかくの国際大会ですし、第三回全体会議及び分科会に興味があるとのことで、急遽団体とは別行動にしました。機転と行動力の素晴らしさは、医学会などで場慣れされている川瀬会長エレクトならではの改めて尊敬した次第です。

ロータリー国際大会の臨場感をお伝えする言葉が残念ながら見つからず、このような稚拙な報告となりましたことをお詫び致します。そして、三条ロータリークラブの会員として参加させて頂いたことに感謝し、来年のアトランタ国際大会にも参加させていただくことをお伝えして報告とさせていただきます。ありがとうございました。





「卓 話」 「古き良きロータリーの思い出」

五十嵐昭一 会員

私も40歳でロータリーに入会して現在80歳になり、早いものでロータリーに40年間過ごしたことになります。やがては、別世界に住む人間になろうとしています。

2001年に斎藤弘文44代会長の後を受けて45代のロータリー会長にさせられ66歳では当時としては年齢が上の方で現在の五十嵐晋三会長よりは若かった様です。

実は33代の小林英雄会長の時と40代の捧賢一会長の時に二度に亘って幹事を経験させられましたので、これでもう今後は会長をさせられることは無いと思っておりました。

ところが、小林英雄会長に呼ばれて「幹事の仕事

の内容は24代の山本会長の時一生懸命勉強したのでほとんどマスターした。だから私の言うままについて来ればいから幹事をやってくれ」と言うことでした。

なるほど、小林会長は「ロータリーの字引」と言われる位に何でも知っておられ、私は小林会長の指示されるままに動いていれば良かったと思います。

小林英雄会長は私の中学校時代の先生でいろいろ教えを受け、私をリードするのにやりやすかったのではなかったかと思われました。

ところが、それから7年後に捧賢一会長が40代でのロータリー会長に就任することになり、1996年に40周年を迎えることになりました。

これは、全然予想外の出来事でした。当時、捧賢一会長は、ホームセンター事業の拡大で全国に店舗をどんどん増加させ、非常に忙しく、身が幾つあっても足りないくらいだったろうと思われました。こんな状況の中でホームセンター事業、ロータリー会

長、文化活動、社会活動等の多岐にわたる行動をどのように分解して捧賢一会長が縦横無尽に活躍されるか期待をして見守っておりました。

そんな時に捧賢一会長より創立40周年と40代の会長時の幹事をやって貰いたいとお願いがまいりました。幹事については小林英雄会長の時に会長リードの幹事はやりましたが、会長、幹事は一回だけで二回はやらないとのロータリーの規約がありますのでこれを盾にお断りいたしました。長い人間関係と仕事の関連で受けざるを得なくなりました。本当に不安でしたが何とかロータリアンの友情に助けられて踏み切りました。

しかし、捧会長は出店が連日のようにあり、また店数も1000店舗近くに増加し、忙しさは桁外れに増し、ロータリーと掛け持ちは簡単にやれるわけではなく端で見るほど楽ではない。各クラブ周年行事、地区行事、と三条クラブの行事とが同時に行われる時が一番大変だった様に思います。

兎にも角にも捧賢一会長はよく頑張っていて体調を崩さないで乗り切れたと今から考えると超人的な活躍に感嘆致しました。

1981年に24代会長に指名された山本福七会長は、私の自宅の前に住んでおられて、婿養子に入られ、戦時中はシベリアに抑留されて大変苦勞されたと聞きました。大変勉強家でいろいろ知識が豊富で、教えられることが多く、さらに雄弁で話がいつ終わるか、いつも興奮しながら手に汗握るのです。

山本福七会長はガソリンスタンドを三条を起点に新潟迄拡大され、10か所位設置され当時としては大きな経営をやられたと思います。そんな中で特に、事業をやりながら新潟大学を受験されたのは飽くなき前向きな情熱のほとばしりが溢れていたものと思われれます。

日戸平太会長は1986年に30代会長としてまた30周年のリーダーとして活躍されました。日戸会長は皮膚科の先生で学者タイプの方で単なる個人医ではもったいなく、大学の研究室に長く学者として研究に勤しまれました。個人医として自宅で診療活動を

やりながら、ロータリーの奉仕活動も一生懸命に尽くされました。日戸会長は学者タイプでエリートではありましたが、時々微笑みながら冗談を飛ばすことがよくありました。また、外国語特に英語に堪能で横文字の本をよく、読んで居られたようです。

多くの先輩のロータリアンにはまだまだ思い出に残るエピソードが沢山ありますが今日は少し短く感じたものの一端を述べさせていただきます。

< 新 会 員 紹 介 >



氏 名	石 黒 良 行
会 社 名	医療法人社団 桂杏会
役 職 名	事務長
住 所	三条市元町10-24
家族構成	妻、一女

次週例会 6月15日 「クラブフォーラム」
川瀬康裕 会長エレクト

次々週例会 6月22日 「一年を振り返って」 五十嵐晋三 会長
浅野金治 幹事

